

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-13150

(P2010-13150A)

(43) 公開日 平成22年1月21日(2010.1.21)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 6 5 D 33/36 (2006.01)	B 6 5 D 33/36	3 E 0 6 4
B 6 5 D 33/00 (2006.01)	B 6 5 D 33/00	C

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2008-174281 (P2008-174281)	(71) 出願人	000115980
(22) 出願日	平成20年7月3日(2008.7.3)		レンゴー株式会社
			大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号
		(74) 代理人	100074206
			弁理士 鎌田 文二
		(74) 代理人	100087538
			弁理士 鳥居 和久
		(74) 代理人	100112575
			弁理士 田川 孝由
		(74) 代理人	100084858
			弁理士 東尾 正博
		(72) 発明者	中井 慎一郎
			大阪市北区中之島2丁目2番7号 レンゴー株式会社本社事務所内

最終頁に続く

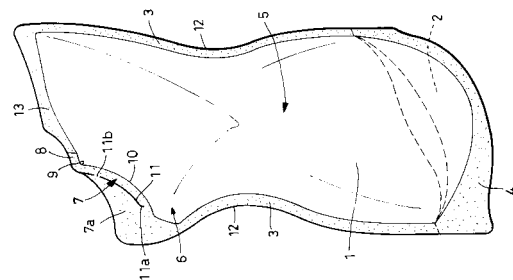
(54) 【発明の名称】 詰替パウチ

(57) 【要約】

【課題】 特別な加工を施すことなく、内容物のボトルへの詰替作業を簡単かつ確実にこなせる詰替パウチを提供する。

【解決手段】 重なり合うシート1を周縁に沿ったシール部3で貼り合わせ、シール部3の内側に内容物の収容空間5を形成し、シート1の上部一側に収容空間5が張り出すようにシール部3を湾曲させて注出口部6を設け、注出口部6でシート1を切断して、注出口部6を開口させる詰替パウチにおいて、前記注出口部6の上縁を形成するシール部7の内縁に、収容空間5の上端側のシール部8から傾斜が変わる肩部9を介し、注出口部6の先端側へかけて斜め外下方へ傾斜した注出誘導縁10を形成する。内容物をボトルに注ぐ際、内容物がシール部8から肩部9でスムーズに方向を変え、注出誘導縁10に沿って注出口部6の中心方向へ集まり、注出口部6の軸線に沿ってボトルに注ぎ込まれる。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重なり合うシート(1)を周縁に沿ったシール部(3)で貼り合わせ、シール部(3)の内側に内容物の収容空間(5)を形成し、シート(1)の上部一侧に収容空間(5)が張り出すようにシール部(3)を湾曲させて注出口部(6)を設け、注出口部(6)でシート(1)を切断して、注出口部(6)を開口させる詰替パウチにおいて、

前記注出口部(6)の上縁を形成するシール部(7)の内縁に、収容空間(5)の上端側のシール部(8)から傾斜が変わる肩部(9)を介し、注出口部(6)の先端側へかけて斜め外下方へ傾斜した注出誘導縁(10)を形成したことを特徴とする詰替パウチ。

【請求項 2】

前記注出口部(6)の下方に、シート(1)の両側縁を括れさせて、把持用の括れ部(12)を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の詰替パウチ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、詰替用のシャンプー、液体洗剤等を収容するパウチに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、下記特許文献 1 には、図 6 に示すように、長形状の重なり合うシート 5 1 を周縁に沿ったシール部 5 2 で貼り合わせて収容空間 5 3 を形成し、シート 5 1 の上部一侧にシール部 5 2 を湾曲させて注出口部 5 4 を設け、注出口部 5 4 に切目線 5 5 を入れた詰替パウチが記載されている。

【0003】

前記注出口部 5 4 の上縁を形成するシール部 5 6 の内縁は、シート 5 1 の上端から垂下するシール部 5 7 の下端部を起点として、斜め外上方へ傾斜したものとされている。

【0004】

この詰替パウチでは、内容物をボトルに移し替える際、切目線 5 5 沿いにシート 5 1 を切断して、注出口部 5 4 を開口させ、水平方向に傾けると、内容物が前方（底の反対側）へ向けて流出するようになっている。

【0005】

また、このような詰替パウチのほか、注出口部としてシートに別体のスパウトを取り付けたり、中空管を挿入する加工、注出口部に溝を形成するエンボス加工等を施して、内容物を注出しやすくした詰替パウチが知られている。

【0006】

【特許文献 1】特開 2008-81144 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

しかしながら、上記特許文献 1 に記載されたような詰替パウチでは、内容物をボトルに注ぐ際、内容物がボトルから逸れて飛び出すおそれがあり、特別な加工を施す詰替パウチでは、製造コストがかかるという問題がある。また、内容物を完全にボトルに移し替えることができず、内容物が詰替パウチに残存して無駄が生じることもある。

【0008】

そこで、この発明は、特別な加工を施すことなく、内容物のボトルへの詰替作業を簡単かつ確実にこなせる詰替パウチを提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記のような課題を解決するため、この発明は、重なり合うシートを周縁に沿ったシール部で貼り合わせ、シール部の内側に内容物の収容空間を形成し、シートの上部一侧に収容空間が張り出すようにシール部を湾曲させて注出口部を設け、注出口部でシートを切断

10

20

30

40

50

することにより、注出口部を開口させ、注出口部から内容物を注出する詰替パウチにおいて、前記注出口部の上縁を形成するシール部の内縁に、収容空間の上端側のシール部から傾斜が変わる肩部を介し、注出口部の先端側へかけて斜め外下方へ傾斜した注出誘導縁を形成したのである。

【0010】

また、前記注出口部の下方に、シートの両側縁を括れさせて、把持用の括れ部を設けることにより、片手で握って内容物の移し替えを行なえるようにしたのである。

【発明の効果】

【0011】

この発明に係る詰替パウチでは、注出口部を開口させて水平方向に傾け、内容物をボトルに注ぐ際、内容物が肩部でスムーズに方向を変え、注出誘導縁に沿って注出口部の中心方向へ向かい、注出口部の軸線に沿ってボトルに注ぎ込まれるので、スパウト等を設けなくても、片手で握った状態で、内容物を溢すことなく、ボトルに簡単かつ確実に移し替えることができ、内容物の残存量を極力減らすことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

以下、この発明の実施形態を添付図面に基づいて説明する。

【0013】

図1は、この発明に係る詰替パウチの内容物を充填する前の状態を示す。この詰替パウチは、重なり合うシート1を下部に山折りにしたシート2を挟んだ状態で、両側縁及び下縁に沿ったシール部3, 4で貼り合わせ、シール部3, 4の内側に内容物の収容空間5を形成したものとされている。

【0014】

シート1の上部一側には、収容空間5が張り出すようにシール部3を湾曲させて、内部が先細りとなる注出口部6が設けられている。

【0015】

注出口部6の上縁を形成するシール部7の内縁には、収容空間5の上端側のシール部8から傾斜が変わる肩部9を介し、注出口部6の先端側へかけて斜め外下方へ傾斜した注出誘導縁10が形成されている。

【0016】

注出口部6の上方のシール部7には、摘み片7aが設けられると共に、注出誘導縁10に沿って切目線11が入れられている。

【0017】

切目線11の下端部には、曲部を経て下方へ向かう切断誘導部11aが設けられ、切目線11の上部には、流通過程での不意の破断を防止する繫部11bが設けられている。

【0018】

また、注出口部6の下方には、シート1の両側縁を括れさせて、把持用の括れ部12が設けられている。

【0019】

上記のような詰替パウチは、上端が開口した状態で、シャンプーや液体洗剤等の内容物が収容空間5に充填され、図2に示すように、シート1を上縁に沿ったシール部13で貼り合わせるにより封緘された状態で、小売店へ出荷される。

【0020】

一方、この詰替パウチの内容物を消費者がボトルに移し替える際には、図3に示すように、摘み片7aを捻るようにして、繫部11bを切断し、切断誘導部11aの延長線に沿ってシート1を切断することにより、図4に示すように、注出口部6を開口させる。

【0021】

そして、図5に示すように、詰替パウチを水平方向へ傾け、注出口部6の開口部をボトルBの開口部に挿入し、括れ部12を握ると、収容空間5が絞られて、収容空間5の内容物がボトルBに移し替えられる。

【0022】

このとき、内容物がシール部8から肩部9でスムーズに方向を変え、注出誘導縁10に沿って、反対側からの流れと集まるように、注出口部6の中心方向へ向かい、注出口部6の軸線に沿ってボトルBに注ぎ込まれるので、括れ部12を片手で握った状態で、内容物を溢すことなく、ボトルBに簡単かつ確実に移し替えることができる。

【0023】

また、注出口部6付近に内容物が溜まりやすい部分がなく、詰替パウチへの内容物の残存量を極力減らして、無駄を省くことができる。

【0024】

なお、上記実施形態では、スタンディングパウチを例として説明したが、四方シール等の他の形式のパウチにおいても、注出口部の近傍に同様の構成を採用できる。

10

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】この発明に係る詰替パウチの内容物充填前の状態を示す正面図

【図2】同上の内容物充填後の封緘状態を示す斜視図

【図3】同上の開封過程を示す斜視図

【図4】同上の注出口部が開口した状態を示す断面図

【図5】同上の内容物の移し替え過程を示す断面図

【図6】従来の詰替パウチを示す正面図

【符号の説明】

20

【0026】

1, 2 シート

3, 4 シール部

5 収容空間

6 注出口部

7, 8 シール部

7a 摘み片

9 肩部

10 注出誘導縁

11 切目線

30

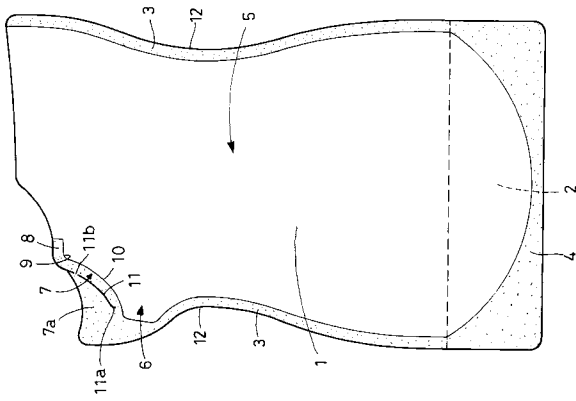
11a 切断誘導部

11b 繋部

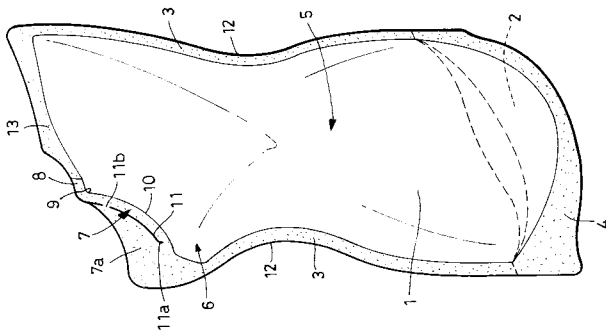
12 括れ部

13 シール部

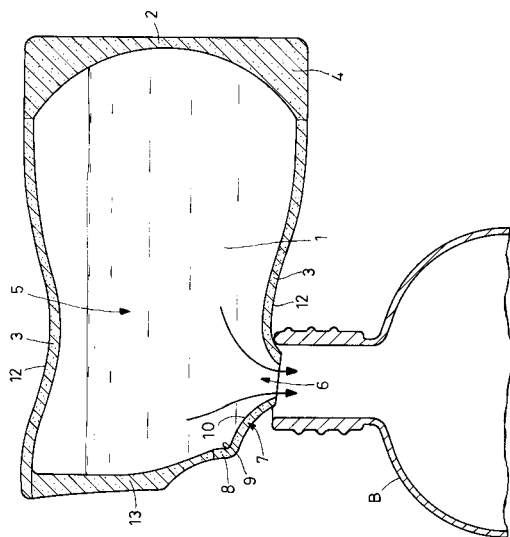
【図 1】



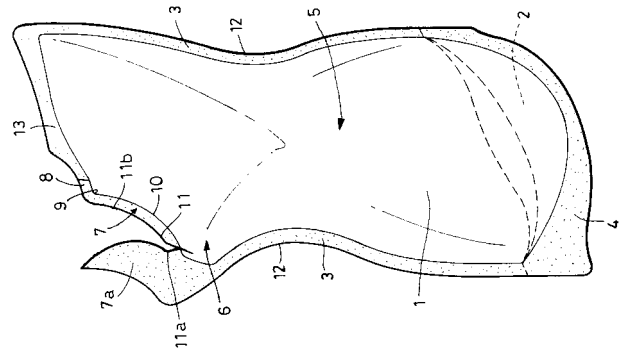
【図 2】



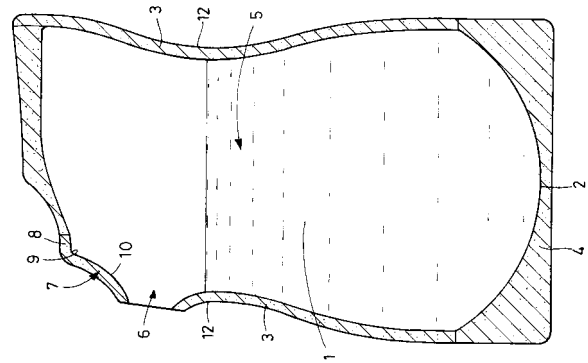
【図 5】



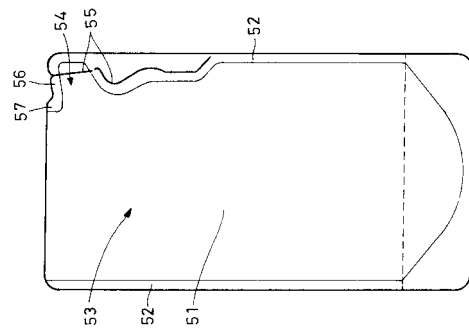
【図 3】



【図 4】



【図 6】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E064 AA05 AB23 BC18 EA12 EA23 FA04 FA05 HJ10 HM01 HN06
HP02 HP04 HS05